

発生後の相談が多い状況である。令和6年度で最も多い内容は定期購入に関する相談で、1回だけ購入したつもりが2回目以降の商品が届き、定期購入の契約となっていたという内容や、事業者に解約の連絡をしても電話が全くつながらないといった内容である。

また副業詐欺や投資詐欺にあったのではないかとといった内容など、SNSやインターネット上の広告からトラブルに発展した相談が増加している。

土木費

◎道の駅整備事業

【質疑】モニタリング支援業務693万円の業務内容は。

【答弁】道の駅整備事業はPF事業者「しろいしグロウパーク」と締結した事業契約書や募集要項、要求水準に基づき実施している。本業務は「しろいしグロウパーク」が実施する設計業務、建設業務が適切に履行されているか、市側の立場として技術的な支援等を行う業務である。

教育費

◎幼保小架け橋プログラム事業

【質疑】事業の主旨に「全ての子どもに学びや生活の基盤を育むことを目指す」とあるが、具体的にどのような学びや生活の基盤が育まれたのか、成果を示す数値や事例とその評価方法は。

【答弁】目指す子どもの姿を「生活をつなぐ」「人をつなぐ」「学びをつなぐ」の3つの視点で整理し、多くのことに興味関心を持ち学習に積極的に取り組もうとする力や、あきらめずにやり遂げようとしたりする力を育むことを大切にしている。成果として「小学校を意識し、自分でやってみよう、やってみたい」と進んで活動に取り組むようになった」などの声が聞かれ、幼児や児童が、遊びや生活に対して、これまでより意欲的に取り組む姿勢や、これまでの経験を生かし学習に取り組む姿が見られた。

評価としては、保育者や小学校教員にアンケートを実施し、実践の成果や課題を調査し分析した。また有識者や学校、園の代表者、担当者が集まり会議を開き、カリキュラムや効果的な連携、実践の課題について確認をし、保育・教育活動の改善に生かした。

◎学びの多様化学校管理運営事業

【質疑】白石きぼう学園が、児童生徒にとって居場所であり、学びの場となっているなど多くの成果が見られるが、課題としてはどのようなことがあるか。

【答弁】本校の児童生徒数が開校当初の約2倍以上に増加しており、在籍人数が10人を超す学級がある。白石きぼう学園に通う子どもたちは不登校の経験があることから、よりきめ細やかな指導支援が必要であると考えているが、果たしてこの人数でできるのかという疑問を感じており、大きな課題があると考えている。そのた

め、学びの多様化学校においては、1学級あたりの児童生徒数を10人程度とし、きめ細やかな指導支援を実現できるよう、さまざまな機会を通じて国に対して要望している。

特別会計

国民健康保険事業

【質疑】健康づくり推進事業の主な事業と実績内容、成果は。

【答弁】主な事業として、若年者向けの基本健康診査業務や人間ドック費用助成事業がある。

国民健康保険被保険者の40歳から74歳になる方を対象に、公立刈田総合病院での人間ドック受診費用について助成を行い、住民の健康保持増進を図り、健康寿命の延伸と医療費の適正化につなげることを目的とし、令和6年度実績値で186人が受診している。

【質疑】事業主旨の「国民健康保険の健全な運営」とはどのような状態を指すのか。

【答弁】誰もが安心して医療を受けられるように、国民健康保険の制度を持続可能な状態で、適切かつ公平に運営され、自立して健康的に生活期間を延ばす「健康寿命の延伸」、その結果として不必要な医療の利用を抑えたりすること等で医療費を抑える「医療費の適正化」が達成されている状態を指すと考えている。これは、国における「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)」に掲げられており、本市の第3期データヘルス計画にも位置付けている。